

海とひょうたん池と夕幸の湧水のび生物の種類

神津島村立 神津小学校4年組沢一輝

1. 研究の経緯

本をかりたら、主人公のせりふで「海にび生物がうじゃうじゃいる」というのを先口って、神津島の水辺にいるび生物を見たいと思った。

2. 予想

海の方が、び生物が多く、ひょうたん池がび生物が少なく、夕幸の湧水が一番少ない。

3. 研究の方法

- ① 昼ごろ、海とひょうたん池、夕幸の湧水をさいりする。
- ② さいりした水をけんびきょうで観察する。
- ③ び生物がいたらスケッチしたい写真をとる。
- ④ 観察できたび生物について、本やインターネットで言周べる。

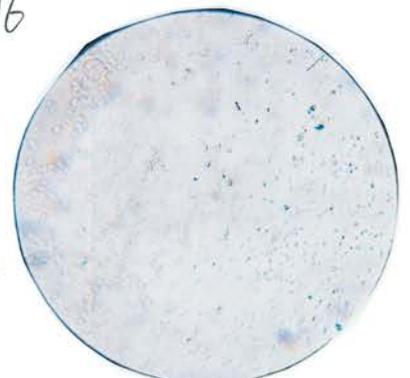
4. 研究の結果

① 夕幸の湧き水 天気 晴れ 7/6
午後0時

気温 35.4℃

水温 20.0℃

重たく生物のいないきれいで
つめたい湧き水だった。



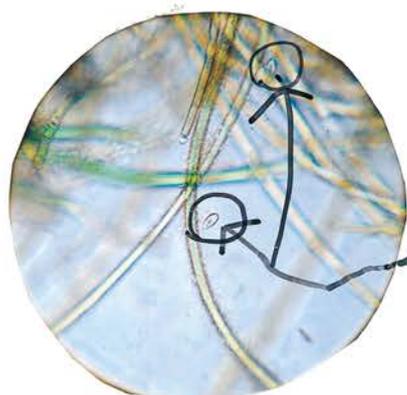
1600倍

②海

- 8/4 前浜つまり (気温32.0℃、水温27.3℃)
- 8/5 多幸おん (気温32.1℃、水温26.4℃)
- 8/16 前浜 (気温32.0℃、水温27℃)
- 8/16 赤山奇の毛 (気温31℃、水温28℃)

1600倍でなにも見えなかつた
↓
とうめいな戸所じゃな
く、「毛」が多い戸所だと
どけろつ。

ゾウリムシが2匹げんきに重なっていた。



ゾウリムシ

- 細胞の中央に口がある。
- 細胞の長さ0.17~0.3mm
- 水中をまわりながら泳ぐ。
- 有機質の多い戸所に多くいる。



赤山奇の岩場

③ひょうたん池 8/4 (気温35.1℃ 水温32.4℃)



見えた生物



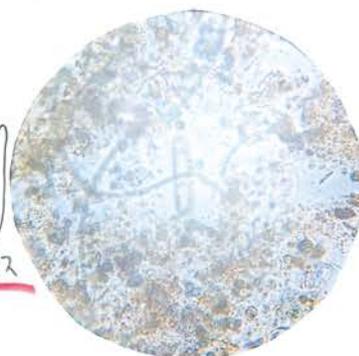
ミカバネモ
ミカバネモ



マダラアブサ



ハネケイトウ
ハネケイトウ



ロープが、ハネケイトウを食べていた。

分かったこと

- 海はとうめいな戸所にはいなかったけどもには少しだけいた。
- ひょうたん池は夢中になるくらい沢山いた多種多様のび生物がいた。
- 湧き水は、きれいだった。おいしい水だった。

6. 石研究のまとめ

王貴土竟に関係があると考えた。ネ申津の海は、とう明度高いので、び生物があまり見えなかつたと思う。ひょうたん池は、とても澄んだ水だったから、沢山見えた。調べたら、ゾウリムシは春に大増殖するから、春にまた調べたい。

7. 参考文献

- WONDA 水の生きもの 発行者 坂井宏先 発行所 ポプラ社
- 日本プランクトン図鑑 発行者 今井龍太郎 発行所 保育社